

# 青森県 高校総体

青森県高校総体の主会期は5日、県内各地で16競技が行われた。ハンドボール男子は野辺地が12大会ぶり、バスケットボール男子は八雲光星が3大会ぶりに栄冠をつかんだ。フェンシングは男女とも田名部が制した。ソフトテニス個人は男子で向

平優介・貝瀬煌(三本木)、女子で佐藤光・嶋山真碧(工大)が頂点に立った。ボクシング男子ミドル級は下浅永久(工大)、テニス女子シングルスは夏坂海夕愛(八戸西)、ボート競技を実施する。総合優勝も卓球女子シングルスは附田美瑠姫(青森商、上北中出)、柔道男子60

♯級は中里羽汰(工大)がそれぞれ優勝した。当初設定していた主会期は終了したが、6日に天候の影響で延期した。同日に発表する。

(取材班)

▽3位決定戦  
△(八戸市)アライオンズ対シブ  
【男子】

サッカー

▽決勝  
青森山田 20100

△準光星  
青森山田 210

(青森山田は2大会連続の  
優勝)  
○：優勝にも選手たちの  
表情に喜びの色は少なかった

## 光星 王者に迫るも「完敗」

【サッカー】男子決勝・青森山田・八雲光星。八雲光星は攻撃の場面をつくも、青森山田の強固な守備に阻まれ、シュートはゼロに終わった。



○：絶対王者に挑んだ八雲光星に判定があったと、得点の機会が確実にあった。FWからDFまでも距離をコンパクトに保ち、後半11分まで青森山田の猛攻に耐え続けた。「いい時間帯もあった」と、下田聖人主将。中盤で相手反撃を仕掛ける姿勢も見せて接戦を演じたが、畑中孝大監督は「ゴールを奪うところまで行けていない。迫るなど、少ないながらも予選での再戦を誓った」。

百戦錬磨の強豪を相手に、それでも、シュートはゼロに終わった。下田主将は「悔しい。勝てなければ意味はない。一から鍛え直して王者に挑みたい」と、冬

ラグビー

(青森市スポーツ広場)

▽3位決定戦

三農恵拓 59-10 **八学光星**

▽決勝

青森山田 61-28-55 青森北

33-0

(青森山田は4大会連続4度目の優勝)

弓道

(県武道館近的弓道場)

【男子】

◇団体▽最終成績(100射)

①木造58中②青森商54中③八戸北53中④八戸⑤**八学光星**⑥弘前

▽技能優秀校 **八学光星**

(木造は2大会連続4度目の優勝)

【女子】

◇団体▽最終成績(100射)

①青森商62中②八戸50中③弘学聖愛49中④青中央⑤弘前工⑥八戸西

▽技能優秀校 青森商

(青森商は2大会連続5度目の優勝)

空手

(六戸町総合体育館)

【男子】

◇個人組手▽決勝トーナメント

1回戦

出 町 2-0 廣 瀬

(明の星)

工 藤 1-0 西 村

(八学野西)

▽同決勝

出 町 3-0 工 藤

【女子】

◇個人組手▽決勝トーナメント

1回戦

船 水 2-0 小 川

(明の星)

大 湊 9-7 大 井

(明の星)

▽同決勝

大 湊 2-1 船 水

(明の星)